そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりＮｏ．１５

2015年１１月６日発行

１１月の聖句「見よ、兄弟が共に座っている。
なんという恵み、なんという喜び。」

（旧約聖書　詩編　第133編１節）

半世紀前、わたくしが子供のころ、足が折りたためる小さな円形の飯台を囲んで、家族四人でしたが、朝夕、食事とる、それは当たり前の日常でした。そして、今と違って「正座」して「無言」で食事をとるのでした。おしゃべりをすると父に叱られました。そんな古い食卓の文化のなかでわたくしは育ちました。

けれども、今はそのことが、とても懐かしく豊かな時間であったことを思うのです。どんなご馳走より、いっしょにいる時間、とりわけ、家族がともに食卓を囲むことにおいて時間を共有する、そこに恵みがあり、よろこびがある。

単純な事柄のなかに、じつは、とても大事な事柄が隠されている、そう思うのです。

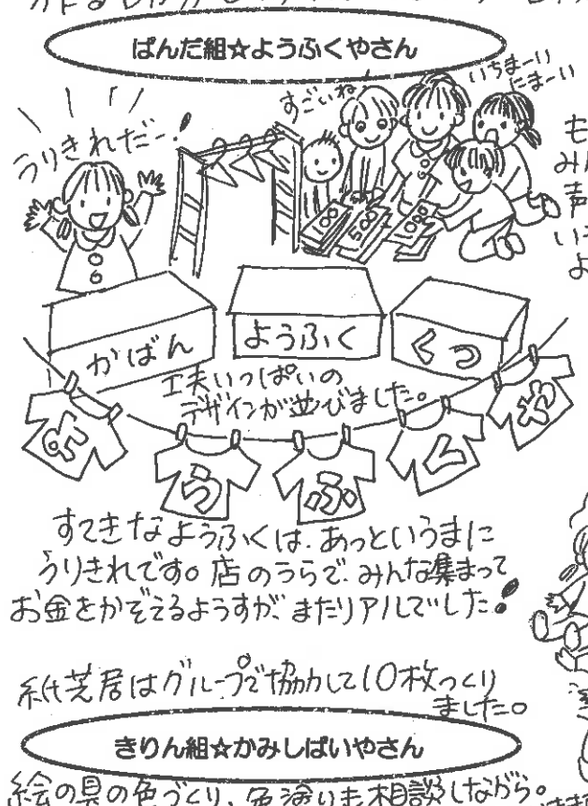
チャプレン　池田　亨

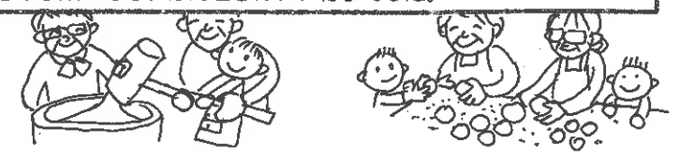
「みんなでやるから本当に楽しいね！」笑顔爆発!お買いものごっこ！

聖十字幼稚園も一つの大きな家族です。みんなで工夫して行う行事は本当にたのしく、心がつながりあいます。今回の行事も、それぞれの個性や活躍の場面が光っていました。

園長　　菊地　和子

年中さんになると、クラス会議でなにをするか相談して、自分たちで作る部分も多くなってきます。普段の個性が製作もそのまま生きてました。



緑が丘町内会の皆さんと

お買いものごっこの次の日は収穫感謝祭（おもちつき）。この道何年？のかよこ先生が朝からもち米を蒸かすい～いにおいが立ち込めます。子どもたちはみんな幸せそうに鼻をくんくんさせながら玄関に入ってきて、『おいしいにおいする！』と喜ぶようすが本当にかわいらしかったです。町内会のみなさんが大勢見えて、こどもたちがお餅をついたり丸めるのをお手伝いしてくれました。世代を超えておなじ場所に集い、伝統の味を心から楽しめる、ほんとうにいい行事でした。